お知らせ

INFORMATION

No.2021-01
2021年1月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。
この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせて頂きます。
何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- **プロテインS（抗原量）〔62207〕**…検査実施施設S
- **プロテインS（遊離型抗原量）〔62208〕**…検査実施施設S
- **EBウイルスDNA定量（血液）〔38076〕**…検査実施施設S
- **EBウイルスDNA定量（血漿）〔38077〕**…検査実施施設S
- **サイトメガロウイルス核酸定量〔16348〕**…検査実施施設S

※項目情報裏面参照

《受託開始日》2021年2月1日（月）受付分より

【検査中止項目】

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

- プロテインS抗原量（トータル）〔62200〕…検査案内P.100　検査実施施設S
- プロテインS抗原量（フリー）〔62201〕…検査案内P.100　検査実施施設S
- EBウイルス核酸定量(EDTA-2Na血液)〔38071〕…検査案内P.82　検査実施施設S
- EBウイルス核酸定量(EDTA-2Na血漿)〔38073〕…検査案内P.82　検査実施施設S
- EBウイルス核酸定量(血清)〔38072〕…検査案内P.82　検査実施施設S
- EBウイルス核酸定量(髄液)〔38074〕…検査案内P.82　検査実施施設S
- サイトメガロウイルスDNA定量〔14679〕…検査案内未掲載　検査実施施設S

《最終受付日》：2021年1月30日（土）受付分まで

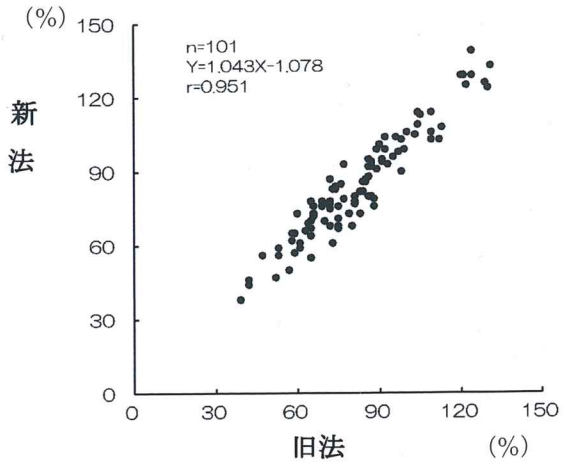
一般財団法人東京保健会　病体生理研究所
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2　電話 03-3956-4101（代表）

【新規項目情報】

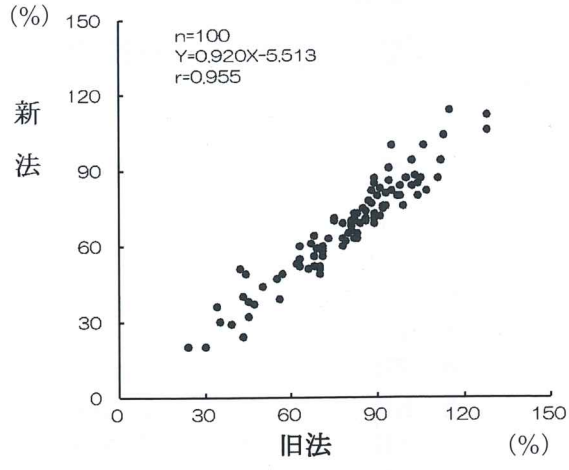
項目名称	プロテインS（抗原量）	プロテインS（遊離型抗原量）
コード	62207	62208
検体材料	クエン酸Na血漿0.2mL	クエン酸Na血漿0.2mL
保存・安定性	絶凍（21日）	絶凍（21日）
検査方法	ラテックス凝集反応	ラテックス凝集反応
基準値（単位）	M:73～137　% F:59～143　%	M:50～131　% F:49～133　%
所要日数	3～8日	3～8日
実施料（区分）	162点（D006　23）	
判断料	血液学的検査　125点	
備考	採血後、速やかに血漿分離してください。	

【新法と旧法の相関】

プロテインS（抗原量）



プロテインS（遊離型抗原量）



参考文献：安藤 秀実，他：機器・試薬 41（5）：509～519，2018.

項目名称	EB ウイルス DNA 定量（血液）	EB ウイルス DNA 定量（血漿）
コード	38076	38077
検体材料	EDTA-2Na 血液 2.0mL 容器№11	EDTA-2Na 血漿 2.0mL 容器№11→5
保存・安定性	冷蔵（28 日）	
検査方法	PCR（リアルタイム PCR）	
基準値 （単位）	検出せず　Log IU/mL	
所要日数	3~6 日	
実施料（区分）	310 点（D023　8）	
判断料	微生物学的検査　150 点	
備 考	他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取扱いに充分ご注意ください。	

WHO International Standard で標準化された体外診断用医薬品を用いた検査です。

Epstein-Barr（EB）ウイルスは、成人の 90%以上が感染しているウイルスであり、生涯にわたり潜伏感染を続けることが知られています。既感染者は EB ウイルス関連抗体が陽性になることや、白血球細胞への潜伏感染から健常人の検体で DNA 検査が陽性になることがあるため、抗体検査や DNA 定性検査だけでは不十分であり、EB ウイルス感染症の診断にはリアルタイム PCR 法の定量検査による、EB ウイルス感染症のモニタリングと迅速な診断が望まれています。

本項目は、1st WHO International Standard で標準化された体外診断用医薬品を用いて、血液および血漿中の EB ウイルス DNA をリアルタイム法で DNA 定量し報告いたします。

参考文献：Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37（1）：132～136, 1999.（検査方法参考文献）
日本造血細胞移植学会：造血細胞移植ガイドライン EB ウイルス関連リンパ増殖症 2018 年 2 月
日本小児感染症学会：慢性活動性 EB ウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン 2016
（臨床的意義参考文献）

項目名称	サイトメガロウイルス核酸定量
コード	16348
検体材料	EDTA-2K 血漿　1.8 mL 容器№57
保存・安定性	絶凍
検査方法	PCR（リアルタイム PCR）
基準値（単位）	検出せず　IU/mL
所要日数	3～6 日
実施料（区分）	450 点（D023　14）
判断料	微生物学的検査　150 点
備 考	他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに充分ご注意ください。

移植後などにおけるCMV感染症の判定補助に有用な検査です。

サイトメガロウイルス（CMV）感染症には、先天性CMV感染症、幼児期を中心に感染する後天性CMV感染症、臓器移植患者における日和見感染によるCMV感染症があります。特に移植患者ではCMV感染症は極めて注意を要する合併症のひとつであり、CMV感染症の早期発見や早期治療の重要性が認識されています。

従来、CMV検査として、pp65抗原を検出するアンチゲネミア法が主に用いられておりますが、CMV核酸定量検査が保険適用されたことから、高感度・迅速性・高精度を実現するDNA定量検査のニーズが急速に高まってきています。加えて、血漿を用いたDNA血症検査（リアルタイムPCR法）とCMV抗原血症検査（C7-HRPあるいはC10/C11法）によるCMV再活性化のモニタリングにおける有用性を比較した検討が国内でなされ、リアルタイムPCR法によるDNA血症検査は、CMV抗原血症検査と同等もしくはそれ以上の有用性があることが示されています。

本項目により、血漿中のサイトメガロウイルスDNAを検出し，CMV感染症を早期にかつ迅速に診断することが可能となります。

参考文献 :森 沙耶香, 他;医学と薬学 77(8):1181～1188, 2020.（検査方法参考文献）

日本造血細胞移植学会:造血細胞移植ガイドライン サイトメガロウイルス感染症(第4版) 2018年8月

日本臨床腎移植学会:腎移植後サイトメガロウイルス感染症の診療ガイドライン2011

（臨床的意義参考文献）

以上